

【施策評価調査】

施策名	3-4-1	防犯灯の整備		102	施策目的 安心して暮らせる地域社会を創るために、危険箇所への防犯施設(防犯灯、防犯カメラ)の設置をに努め、犯罪の起こりにくいまちづくりを推進します。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	総務企画部 地域安全課	担当	危機管理		
		リーダー	岡本英男		
環境変化	町直轄管理になった。				施策内容 平成16年度現在約1,400基設置している防犯灯を平成18年度・19年度に集中的に増設し、児童・生徒の通学路や地域の主要幹線道路、防犯対策上重要な場所に事件・事故等の発生しにくい環境を作ります。また、宝積寺駅東口の整備に伴い、犯罪等の未然防止や周辺環境整備の観点から、防犯カメラの整備を検討します。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標 : 防犯灯設置総数(基)	平成16年度	計画	1645基	1695基	1695基	1695基	1,695基
	1,405基	実績	1785基	1885基	1999基		
指標 :		計画					
指標 :		実績					
指標 :		計画					
指標 :		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	2,000,000	4,560,000	3,187,000	1,670,000	
	決算	2,115,120	2,053,160	3,023,148		

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)		
防犯灯整備事業費	H21 現計 1,670,000	防犯灯の設置数	防犯灯を設置することにより、夜間の犯罪減少が見込まれるだけでなく、歩行者や自転車利用者の交通事故防止が図れるなど安全、安心なまちづくりができます。	今後の方向性(総合評価)	廃止
	H22 計画 1,670,000				
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画				
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画				
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画				
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画				

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性	現状水準維持	平成18年度から平成20年度まで3ヶ年計画により、各中学校単位で通学路などを中心に計画的に整備を進めてまいりました。しかし、まだ未整備の部分や防犯上必要な場所もあるため、平成21年度からは、この計画の補完的な整備として、地域の要望や事件事故の発生した場所等に防犯灯を設置していますので、これを継続して犯罪防止に寄与させていきます。
総合評価	<p>総合評価</p> 計画的に整備されてきたことを評価する。これまで設置した箇所の効果の検証や事件・事故が発生した箇所のデータを有効的に分析した上で、町が行うことと地域が行うことの役割分担をし、後期計画においては、経常的な維持管理にシフトすること。よって、計画的な整備が終了したことを受け、「防犯灯整備事業」は予算計上は見送りとするが、経常的な維持管理は行うこととする。		